

JANUARY
CELEBRATION
100 YEARS
OF
JSC



1914-2014
土木学会

創立100周年
記念式典・記念祝賀会

平成26年11月21日(金)

PROGRAM

ごあいさつ

土木学会は、1879年（明治12年）に設立された工学会を前身として、1914年（大正3年）に設立されました。初代会長である古市公威先生が、第1回総会において土木工学の総合性や土木が分野の外に広がっていくことの必要性を趣旨とする会長講演をされて以来、今年で100年目を迎えます。

土木は、近代土木の黎明期である明治時代には社会基盤整備を推進し、大正末期の関東大震災では首都の復興に貢献しました。昭和初期には近代国家の産業基盤の整備を進め、戦後は荒廃した国土を復興し、高度経済成長の基盤を固め、さらには頻発する自然災害から我が国を守ってきました。

同時に近年では、高齢化問題やエネルギー問題、地球温暖化問題が現実のものとなりつつあり、また、阪神淡路大震災や東日本大震災は改めて社会安全を大きな問題として提起しました。このような問題の全てに対して、土木は真摯な姿勢で取組み、最大限の貢献を行うことが求められています。個々の課題に取り組むことを通じて、究極的に目指すべき持続可能な社会を実現するための礎を築くという、理想に向かって進んでいきたいと思えます。

本日は、土木学会創立100周年にあたり、記念式典・記念祝賀会を開催するに至りました。記念式典では、社会と土木の100年ビジョンに基づき、持続可能な社会の構築に貢献する土木の姿とそこで活躍する土木技術者のあり方、役割を「土木学会創立100周年宣言」として公表します。また、日本郵便から、切手シート全体で土木を表す素晴らしい風景が描かれた土木学会創立100周年の記念切手が発行されています。これらの100周年記念事業を通じて、改めて土木の重要性と方向性を訴えていきたいと思えます。どうか今後も会員皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



公益社団法人土木学会 会長
磯部 雅彦

ISOBE Masahiko

土木学会創立100周年事業に、ご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。本日、100年の節目となる記念式典・記念祝賀会を迎えることができ、たいへん嬉しく思います。

1914年の土木学会設立時に443人であった会員数は、現在では約4万人となり、この多くの会員の皆様に土木学会は支えられてきました。創立100周年事業にも、たいへん多くの方々にご参画をいただいています。また、2007年の100周年記念事業準備タスクフォースの設立から長時間をかけて議論を重ね、2010年からは数多くの事業を全国各地で展開してきました。

この100周年にあたり、これまでの土木の歩みを振り返り、土木界、土木学会、土木技術者が今後何をすべきかを考え、実行し、土木学会の活動を発展的成長へと転換する機会としたいと考えています。将来に向けての学会活動のあり方の一つの提案として、会員が一個人として参加し、啓発され、ネットワークを拡げ、会員であることのメリットを感じながら活動し成長する、そのような発展を強く期待します。ごく普通の会員が集まり、face to faceの形態で互いに啓発できる集いの場をたくさん各地に作る必要があると考えています。そのためにも、支部活動が重要であり、そのような活動を通じ、新たな100年の創出に向けて挑むという姿勢が会員の皆様の間で共有されていって欲しいと思えます。

今後も引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



土木学会創立100周年事業実行委員会 委員長
藤野 陽三

FUJINO Yozo

1 9 1 4 - 2 0 1 4

次第

記念式典 東京国際フォーラム ホールC 14:00~17:00

受付開始・開場 12:30

オープニング演奏…………… アンサンブル・シヴィル

I. 【第一部】(14:20 ~)

・開会の辞…………… 土木学会創立100周年事業実行委員会 委員長 藤野陽三

・式辞…………… 土木学会 会長 磯部雅彦

・祝辞…………… 文部科学大臣 下村博文 様

国土交通大臣 太田昭宏 様

・海外来賓紹介

・祝辞…………… 米国土木学会 (ASCE) 会長 Dr. Robert D. Stevens

II. 【第二部】(14:55 ~)

・土木学会創立100周年宣言… 土木学会 会長 磯部雅彦

・特別講演「日本人の新しい人生設計」

山崎正和 様 (劇作家、大阪大学名誉教授)

— 休憩 (16:15~) —

III. 【第三部】(16:30 ~)

・市民普請大賞 表彰式

・未来のT&Iコンテスト 表彰式

・閉会の辞…………… 土木学会 次期会長 廣瀬典昭

後援：文部科学省、国土交通省、日本学術会議、(公社)日本工学会

記念祝賀会 帝国ホテル 孔雀の間(東西) 18:00~20:00

受付開始 17:00

オープニング演奏…………… シヴィル・クワイア

I. 開会の辞 18:00…………… 土木学会 副会長 足立敏之

(土木学会創立100周年事業実行委員会 副委員長)

II. 祝辞…………… 日本学術会議 会長 大西 隆 様

大韓土木学会 (KSCE) 会長 Prof. Myung Pil Shim

III. 海外来賓紹介

IV. 鏡開き

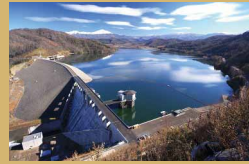
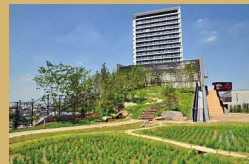
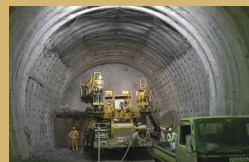
V. 乾杯・祝電披露

— 歓談 —

VI. 演奏…………… アンサンブル・シヴィル、アンサンブル・フェスタ、

シヴィル・クワイア

VII. 閉会の辞…………… 土木学会創立100周年事業実行委員会 式典部会長 山崎隆司



特別講演

「日本人の新しい人生設計」



劇作家、大阪大学名誉教授

山崎正和様

YAMAZAKI Masakazu

Photo by H.Endo

1934年京都生まれ。

劇作家、評論家、演劇研究者。

大阪大学名誉教授、元LCA大学院大学学長。

1999年紫綬褒章受章、2007年文化功労者、2011年日本芸術院賞。

著作は山崎正和著作集（全12巻）（中央公論社1981-82）など多数。

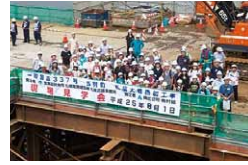
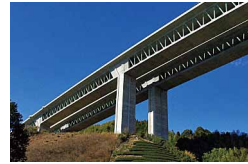
特別展示



記念式典の会場では、「土木と文明」をテーマとした二種類の特別展示を行います。

一つは、主に技術者をターゲットとしたパネル展示です。今後、技術者が築いていくべき文明の姿について考えるためのヒントを、歴史の中から探るのが目的です。ここでは、先人たちの国土経営のビジョン、自然の驚異への対応、都市の再生、都市・構造デザインの多様性の再認識など、複数の異なる視点から文明構築における土木の役割を考察しています。また、全国各地から集めた橋梁を中心とする土木施設の図面も併せて展示します。

もう一つは、一般の方向けの映像の映写です。文明を象徴する構造物をいくつか選びだし、それらの写真や動画を使って一つの映像作品としています。ここでは橋やダムなどのいわゆる土木構造物だけではなく、多岐にわたる施設を素材としながら、土木技術者の使命を一般の方にもわかりやすく伝えています。



SPECIAL SPEECH & EXHIBITION

平成26年度 土木学会役員

会長	磯部 雅彦	理事	赤木 寛一	理事	霜上 民生	理事	橋本 典明
副会長	足立 敏之	〃	池田 清宏	〃	田中 慎一郎	〃	松原 雄平
〃	河原 能久	〃	柿谷 達雄	〃	田村 亨	〃	水鳥 雅文
〃	小林 潔司	〃	菊川 滋	〃	千釜 章	〃	三村 衛
〃	中井 雅彦	〃	木戸 洋二	〃	土屋 幸三郎	〃	村田 和夫
〃	前川 宏一	〃	久保田 尚	〃	中尾 成邦	〃	山口 登美男
次期会長	廣瀬 典昭	〃	甲村 謙友	〃	成行 義文	監事	牧浦 信一
専務理事	大西 博文	〃	清水 茂	〃	野田 豊範	〃	横溝 良一

平成26年度 土木学会支部長

北海道	太田 祐司	中部	早川 高明	四国	上羽坪 勲
東北	鈴木 基行	関西	森 昌文	西部	山崎 惟義
関東	大嶋 匡博	中国	前野 詩朗	海外	霜上 民生

土木学会創立100周年事業実行委員会

(*: 部会長、※: 世話幹事、○: 前任者、(): 兼務)

委員長	藤野 陽三	C市民交流	緒方 英樹	式典部会	三村 啓子	支部部会	平井 信之○
副委員長	足立 敏之	〃	椛木 洋子	〃	石井 啓稔○	〃	水野 貢○
〃	小林 潔司	〃	萱場 祐一	広報部会	藤井 聡*	〃	山口 健太郎○
〃	田代 民治	〃	鈴木 豪	〃	神田 佑亮※	財務部会	福本 勝司*
〃	林 良嗣	〃	高橋 良和	〃	池田 豊人	〃	水口 和之※
幹事長	熊本 義寛	〃	中村 圭吾	〃	木村 優介	〃	山本 貴弘
副幹事長	杉原 克郎	〃	樋口 明彦	〃	佐々木 葉	顧問	磯部 雅彦
〃	日比野 直彦	〃	(三浦 陽介)	〃	(高橋 薫)	〃	家田 仁
〃	松田 光弘	〃	吉田 陽一	〃	羽鳥 剛史	〃	上田 多門
企画担当	山崎 聡	〃	吉富 友恭	〃	福士 謙介	〃	大石 久和
事業部会	島谷 幸宏	国際部会	木村 亮*	出版部会	依田 照彦*	〃	大島 一哉
〃	田村 亨	〃	中山 かおり※	〃	大内 雅博※	〃	大西 博文
〃	屋井 鉄雄	〃	石田 哲也	支部部会	福田 敦*	〃	小野 武彦
〃	(日比野 直彦※)	〃	菊本 統	〃	(杉原 克郎※)	〃	柿谷 達雄
A社会安全	(田村 亨*)	〃	澤上 晋	〃	有村 幹治	〃	金井 誠
〃	下大園 浩※	〃	高橋 茜	〃	斉木 功	〃	菊川 滋
〃	高橋 章浩	〃	高橋 秀	〃	峯岸 邦夫	〃	鬼頭 平三
〃	(水口 和之)	〃	土屋 正彦	〃	井田 宏正	〃	木村 洋行
〃	宮田 亮	〃	戸田 圭一	〃	山本 貴士	〃	甲村 謙友
〃	山口 統央	〃	長井 宏平	〃	塚井 誠人	〃	中井 雅彦
〃	佐原 史浩○	〃	牧野 孝久	〃	吉田 秀典	〃	橋本 鋼太郎
〃	田中 知足○	〃	三浦 陽介	〃	渡辺 亮一	〃	廣瀬 典昭
B社会貢献	(屋井 鉄雄*)	式典部会	山崎 隆司*	〃	笠原 覚	〃	宮川 豊章
〃	高野 昇※	〃	利穂 吉彦※	〃	(高野 昇)	〃	山本 卓朗
〃	飯田 善一郎	〃	中井 祐	〃	(高橋 薫)		
〃	岡市 光司	〃	藪内 一彦	〃	(日比野 直彦)		
〃	田中 伸治	〃	相川 智彦	〃	(松田 光弘)		
〃	寺部 慎太郎	〃	岩田 美幸	〃	(水口 和之)		
〃	長井 宣子	〃	久保 淳一郎	〃	佐々木 大介○		
〃	橋場 浩○	〃	見坂 茂範	〃	高松 康廣○		
C市民交流	(島谷 幸宏*)	〃	細見 明彦	〃	田畑 宏司○		
〃	高橋 薫※	〃	(松田 光弘)	〃	田村 秀夫○		

豊かなくらしの礎を
これまでも、これからも



主催:  公益社団法人 **土木學會**

<http://www.jsce.or.jp>